

『私の脚本のつくりかた教えます』

～演出の可能性を引き出す！学校演劇のための脚本づくり～

脚本づくりの
基礎基本

演出を意識した
脚本づくりの
ポイント

生徒創作
による実践

誰にでもできる！

斉藤俊雄先生による学校演劇の
ための脚本づくりを大公開！！

スリーステップで
どこまでも
わかりやすい！

●指導・解説／斉藤 俊雄

(埼玉県久喜市立太東中学校演劇部顧問
前埼玉県久喜市立久喜中学校演劇部顧問)

●実技協力／埼玉県久喜市立久喜中学校演劇部

指導者実績／

第12回全国中学校文化連盟総合文化祭推薦作品である『ふるさと』をはじめ、『春一番』、『青空』、『ときめきよろめきフォトグラフ』など多くの作品が日本全国の中学、高等学校の学校現場で高い評価を受けている。

演劇部の活動状況は学校によって本当に千差万別です。男子が少ない、人数が少ない、または多すぎる……などなど、「既存の脚本では無理だ！創作しよう！でも作り方がわからない……」とお悩みの先生も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、日本全国の学校現場で大変な人気を誇る斉藤俊雄先生を講師に迎え、最新作『ふるさと』の脚本づくりを通して、多くの人気作品を生み出してきた脚本づくりを詳しくご紹介します。

生徒創作の脚本をどう評価すればいいのかわからない、という先生方にもお勧めのDVDの登場です！

P07-2 舞台演出・役者の表現を意識した脚本づくりのポイント

62分

斉藤俊雄先生が脚本を創る上で大切にしていることをご紹介。「舞台上演するための脚本」という観点で、脚本を実際に演じた実演を交えながら具体的にご覧いただけます。

大切にしていること (61分)

■教室で上演できる劇を創る

■転換を考慮して創る

- ・演劇における場面転換
- ・三一致の法則
- ・舞台セットを変えずに時を変える
- ・場面を変える(暗転(舞台転換あり)/暗転(舞台転換なし)/明転(舞台転換なし)/実演『ふるさと』)

■オープニングを工夫する

- ・自然な形の状況説明、実演『春一番』
- ・印象的な導入、実演『ふるさと』、『降るような星空』の場合

■表現をイメージして脚本を書く

- ・音の響きをイメージする、実演『ふるさと』
- ・身体表現をイメージする、実演『春一番』、実演『ふるさと』

■サブテキストを大切にす

- ・言葉の後ろにある思い、実演『ふるさと』
- 避けたいこと／誰もが描いていないものを求めて／感動のある劇を創る／たくさんの引き出しを持つ／アイデアに詰まったら

■創作の魅力について (1分)



P07-1 脚本創りの基礎知識構成段階から執筆・推敲まで

66分

脚本創りについて、「ふるさと」を例に全体の流れをご紹介します。アイデアのスタート地点やプロット、人物表の作成、推敲作業など、脚本創作に欠かせない要素ばかりです。

■イントロダクション (1分)

■よい劇とは何か (7分)

- ・まずはじめに
- ・他の芸術との違いから考える
- ・絵本との類似から考える



■脚本の創り方『ふるさと』が出来るまで (40分)

- ①劇のイメージを持つ(全体のイメージ、ドラマのイメージ、舞台のイメージ)
- ②関係する資料を集めて読む/資料集めについて
- ③アイデア集の作成
- ④プロット(設計図)の作成/プロットに対する考え方
- ⑤登場人物の決定と人物表の作成/当て書きを行う理由
- ⑥脚本を書き始める(ラストを書く・ラストに向かって書く/印刷して推敲作業を行う/練習を通して推敲する)

■『ふるさと』をいかに推敲したか (18分)

- ①生徒の表現をよりよくするために(実演：ふるさとが転じてくるシーン)
- ②劇の流れ・テンポをよくするために(実演：腕相撲のシーン)
- ③感動をより深くするために(実演：ラストシーン)

各巻実演部分及び
生徒創作の脚本も
PDFデータにて収録！！

P07-3 生徒による脚本創作・推敲から実演まで

59分

この巻では1,2巻目の内容と同等のレクチャーを受けた生徒が実際に創作した作品の中から2作品を選抜し、実演を通して推敲していく様子をご紹介します。貴校でもぜひ取り組んでみてください。

■生徒による創作『Believe』

作：小川真穂 (27分)

- ①1回目発表
- ②劇を振り返る
- ③アイデアを出し合う
- ④2回目発表
- ⑤感想発表

■生徒による創作『友だちの証』

作：宮本沙織 (27分)

- ①1回目発表
- ②劇を振り返る
- ③アイデアを出し合う
- ④2回目発表
- ⑤感想発表



■なぜ全員が創作を行ったのか (4分)

書籍で挫折された方にもオススメします！